



地域共生社会の実現に向けたセミナー こどもたちの立ち直り支援を考える

1. あいさつ

第1部 特別講演

つまずきから
どう支え
どう立ち直るか

東京都立大学人文社会学部
人間社会学科 竹原 幸太 氏

どんな境遇の子も
見捨てない

支援の限界をチームで突破する

NPO スチューデント・サポート・
フェイス 谷口 仁史 氏

第2部 パネルディスカッション



つまずきからの回復とその支援
ちいさな一歩をたしかにつなぐ

2. 閉会挨拶 福祉健康科学部 教授 相澤 仁



日時 令和5年12月2日（土）13時～17時

場所 大分大学 旦野原キャンパス 第一大講義室

定員 200名（参加無料）

基調講演1

竹原 幸太氏 東京都立大学人文社会学部人間社会学科 准教授

青少年問題（いじめ、非行等）の未然予防から事後対応について、教育学の観点から研究。青少年の「悪さ」は、なぜ処罰ではなく、教育が求められるのか、教育・児童福祉・少年司法等の関連領域の法制史とともに、非行克服に従事した実務家の実践史を辿り検討し、問題を乗り越えていく教育方法とその思想について明らかにしている。博士（文学）。近著：『失敗してもいいんだよ』本の泉社2017、『教育と修復的正義』誠文堂2018、『立ち直り・甦りの教育福祉学』誠文堂2022

基調講演2

谷口 仁史氏 特定非営利活動法人NPO スチューデント・サポート・フェイス 代表理事

家庭訪問によるひきこもり等の若者の相談支援・厚生労働省委託事業「さが若者サポートステーション」の運営等を行う。大学生ボランティアを含めた20、30歳代の若者が数多く参加し、「支援団体の情報の収集・提供のためのネットワーク」や「就労支援のためのネットワーク」を構築するとともに、家庭訪問（アウトリーチ）による「ひきこもりの若者」に対する相談支援に取り組み、成果をあげている。

パネルディスカッション

活動報告1：おおいた子ども支援ネット CONETプロジェクト 矢野 茂生氏、内田 理美氏、川村涼太郎氏

活動報告2：爽風館高校・九重町スクールソーシャルワーカー 井上 裕美氏

コーディネーター：相澤 仁 氏・竹原 幸太 氏、パネリスト：谷口 仁史氏、矢野 茂生氏、内田 理美氏、川村涼太郎氏、井上 裕美氏

申込み

参加ご希望の方は、①所属、②職、③氏名、④電話番号、⑤メールアドレスをご記入の上、11月27日（月）までに担当へ、件名「セミナー参加申込」とし、メールにてお申込みください。折り返し、詳しいご案内等を送らせていただきます。担当：大分大学福祉健康科学部 加藤 fukusisomu@oita-u.ac.jp

